

学校と地域の協働実践セミナー 東青地区研修会

平成27年6月24日(水) 青森県総合社会教育センター 参加者22名

学校と地域の協働実践セミナー東青地区研修会が、6月24日(水)青森県総合社会教育センターで開催されました。今回は講師にNPOはちのへ未来ネット代表理事 平間 恵美 氏をお迎えして「地域で支える子どもの育ち」と題して、学校支援コーディネーターとしての取り組みについて講義・演習をしていただきました。

学校支援コーディネーターとしての取り組みについて

- ・小中野小学校では学習ボランティアに現役のPTAだけでなく、子どもが大きくなった方々もボランティアとして活動している。
- ・活動を行っていく上で、図書活動（図書室整理、飾り付け、読み聞かせ）が比較的取り組みやすい。
- ・以前は活動場所(教室)がなかったが、校長に訴え続けることで、ようやくボランティアルームを開設することができた。



地域での取り組みについて

- ・現職校長自ら、地区の幼稚園や保育園に出前講座に出かけ、科学実験を行ったり、小学校の様子を説明したりしている。
- ・昔から伝わる八戸小唄を復活させ、学校の行事や町内の祭りで踊らせている。→子どもが集まれば地域の行事も活性化される。
- ・学習発表会の準備物などでは、学習支援ボランティアと共に、民生委員の方々にも手伝っていただき製作している。
- ・学校支援は、学校の支援（事業）を通しての学校と密着し、地域を作る「町づくり」につながっていく。
- ・地域で育った人々がその力を発揮できる場所を作ってあげるのがコーディネーターの役割。



〈参加者のアンケートから〉

- ・平間先生のお話は実践も兼ねていたもので、心に響くものでした。
- ・学校や地域との連携の大切さがよくわかりました。子どもの健全な育成のために地域の人材を育成し、活用することの必要性を感じました。
- ・たいへんすばらしかったです。最近自分の悩みにぴったり（10年間継続してきた）共有できました。参加して本当によかったです。

〈講師紹介〉



平間 恵美 氏 NPOはちのへ未来ネット代表理事 八戸市社会教育委員長
八戸市立小中野小学校学校教育コーディネーター

これまで青森県社会教育委員、八戸市小中野児童館館長、八戸市小中野地区主任児童委員、はちのへ子ども劇場代表などを歴任。児童館にて、放課後子ども教室など、学校・地域・活動団体連携の体験活動プログラムを実施している。